

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 図画工作 (図画工作) ≫

※詳細については、資料Ⅱ (図画工作-3～図画工作-6)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い
1 教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、巻末に道具の使い方や安全指導などを扱った『学びの資料』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、いろいろな方向から見てクイズをつくるなどの学習活動が『ひらめきショートチャレンジ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、題材ごとの『学習のめあて』に対しての振り返りをする学習活動が『ふりかえり』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、制作した作品を飾ったり、プレゼントしたりするなどして、相手に気持ちを伝える学習活動が『絵のお話でプレゼント』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材に、SDGsマークで示されたコラムが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、図画工作の学習が生活や社会とつながっていることが示された『みんなのギャラリー』『つながる造形』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、「育成を目指す資質・能力の3つの柱」と題材との関係が、キャラクターを用いて巻頭に一覧で掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『道徳』など関連する教科等名とその内容が示された『あわせて学ぼう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、発表や話し合いなどを行う学習活動が『墨や筆の技 水墨画の世界へ』などに設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の工芸品、文化財や、諸外国の作品などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『地球まるごとたからばこ』や学校の校舎などを生かした活動が『この空間がいい感じ』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼稚園教諭のメッセージが掲載され、第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、プログラミングを生かして動かしたり、音を出したりする児童の作品の紹介が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、教科書で使われているマークなどの説明が『図画工作を学ぶみなさんへ』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『見て感じてわたしの表現に』などに示され、動画などにつながる二次元コードが設定されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、その場所で感じたことを絵に表すなどの学習活動が『私のお気に入りの場所』などに設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、各題材に使用する用具の一覧が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び[共通事項]の学習内容を、相互に関連させることについて、作品と関連する題材のページが『小さな美術館』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁 表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 1・2上下各26題材、3・4上下各26題材、5・6上下各25題材。それぞれの題材は2ページまたは4ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 図画工作(図画工作) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(図画工作-3～図画工作-6)を参照。

発行者の略称	日文	書名	図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、巻末に材料の特徴や道具の使い方などを扱った『材料と用具のひきだし』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、作家の作品や伝統文化などを鑑賞する学習活動が『教科書美術館』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを次の活動にどうつなげるかを考える学習活動が『ふりかえり』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、鑑賞活動での作品の味わい方や対話的な学習活動が『友だちと作品を見て話そう』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材の『つながる学び』に『SDGs』と掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、図画工作の学習を通じ地域や社会と関わりを持つことが示された『つながるずこう』『広がる図工』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『わたしとひびき合う』などの言葉で「造形的な見方・考え方」について示された内容が巻頭に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『社会・道徳』など関連する教科等名などが示された『つながる学び』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、感じたことなどを伝え合う学習活動が『この筆あと、どんな空?』などに設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な遊びや日本で受け継がれてきた形や色、諸外国の作品などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『自然を感じるすてきな場所で』や学校の校舎などを生かした活動が『糸から生まれるわたしの空間』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の振り返りが掲載され、第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表現方法の例としてプログラミングの作品やプログラミングの手順が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、題材ページの構成などの説明が『教科書の使い方』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『この筆あと、どんな空』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、日常を自分の見方で切り取って表すなどの学習活動が『私の大切な風景』などに設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、既習の学習が『思い出そう』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び[共通事項]の学習内容を、相互に関連させることについて、題材に活動内容を示した『絵・かん賞』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 1・2上29題材、下28題材。3・4上28題材、下27題材。5・6上下各28題材。それぞれの題材は1ページから4ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《図画工作(図画工作)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
開隆堂	「知識・技能」の習得について、巻末に道具の使い方や基礎的な技能、安全指導などを扱った『学びの資料』が掲載されている。題材ごとにキャラクターマークにより「知識及び技能」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、巻末に材料の特徴や道具の使い方、基礎的な技能などを扱った『材料と用具のひきだし』が掲載されている。題材ごとに手のマークにより「知識及び技能」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、いろいろな方向から見てクイズをつくるなどの学習活動が『ひらめきショートチャレンジ』に設定されている。題材ごとにキャラクターマークにより「思考力・判断力・表現力等」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、作家の作品や伝統文化などを鑑賞する学習活動が『教科書美術館』に設定されている。題材ごとに電球マークにより「思考力・判断力・表現力等」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、題材ごとの『学習のめあて』に対しての振り返りをする学習活動が『ふりかえり』や、巻末の『これまでのふりかえりをしよう』に設定されている。題材ごとにキャラクターマークにより「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを次の活動にどうつなげるかを考える学習活動が『ふりかえり』や、各下巻の『図画工作での学びをふり返ってみよう』『どんなことしたかな』などに設定されている。題材ごとに笑顔マークにより「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関する『学習のめあて』が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
開隆堂	[思いやる力]の「豊かな心」について、制作した作品を飾ったり、プレゼントするなどして、相手に気持ちを伝える学習活動が『絵のお話でプレゼント』などに設定されている。グループ活動などの協働的な学びとなる題材が設定されている。
日文	[思いやる力]の「豊かな心」について、鑑賞活動での作品の味わい方や対話的な学習活動が『友だちと作品を見て話そう』などに設定されている。協働的な学習活動が『アート・カードをたのしもう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
開隆堂	[たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材に、SDGsマークで示されたコラムが掲載されている。材料の有効活用などが示された『かたづけ』が題材に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「責任感」について、第3・4学年と第5・6学年では、現代的な諸課題に関連する題材の『つながる学び』に『SDGs』と掲載されている。材料の有効活用などが示された『かたづけ』が題材に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
開隆堂	[社会とかかわる力]の「生きること」について、第1・2学年では、地域の中での造形活動、第3・4学年では、図画工作で学校生活を楽しくすること、第5・6学年では、表現活動が人や暮らしをつなぐことなどが『みんなのギャラリー』『つながる造形』に掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「生きること」について、第1・2学年では、つくったおもちゃで家の人や地域の人と遊ぶ様子、第3・4学年では、校内や野外、地域での展示、第5・6学年では、地域と連携した図画工作の活動などが『つながるぞう』『広がる図工』に掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に各題材で重視する「育成を目指す資質・能力の3つの柱」と題材との関係が一覧で掲載されている。題材にキャラクターのセリフで『特に大切なめあて』に関するヒントが掲載されている。造形表現についての作家から児童へのメッセージと児童の言葉が『心をひらいて』などで掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、『わたしとひびき合う』などの言葉で「造形的な見方・考え方」について示された内容が巻頭に掲載されている。題材に『特に大切なめあてのヒント』『鑑賞のヒント』が掲載されている。めあてを確かめることや作品を見せ合うことなどを示した『学習の進め方』が掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)

開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『道徳』『特別活動』など関連する教科等名とその内容が示された『あわせて学ぼう』が掲載されている。裏表紙に家庭での学びの共有について『保護者の皆様へ』が掲載されている。第5・6学年では、図画工作で学んだことを社会でどう生かすかが示された『未来へつながる図画工作』が設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『社会・道徳』『SDGs』など関連する教科等名などが示された『つながる学び』が掲載されている。目次に家庭での学びの共有について『保護者の方へ』が掲載されている。第5・6学年では、図画工作の学びで、これからも大切だと思ふことが問われた『図画工作での学びをふり返ってみよう』が設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

開隆堂	言語能力の育成について、発言の例が示された発表や話し合いなどを行う学習活動が『墨や筆の技 水墨画の世界へ』などに設定されている。児童作品の作品名の下に、作品についてのコメントが掲載されている。第5・6学年では、アイデアを言葉で整理する例が掲載されている。
日文	言語能力の育成について、発言の例が示された感じたことなどを伝え合う学習活動が『この筆あと、どんな空?』などに設定されている。児童作品に作品についてのコメントが吹き出しの形で掲載されている。第5・6学年では、児童のワークシートや、表し方を言葉で整理する例が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の工芸品、文化財、各地の特色を生かした造形活動や作品などが掲載されている。諸外国の文化や児童の作品などが掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な遊びやおもちゃ、日本で受け継がれてきた形や色などが掲載されている。諸外国の児童や作家の作品などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
開隆堂	体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『地球まるごとたからばこ』や学校の校舎などを生かした活動が『この空間がいい感じ』などに設定されている。「造形遊び」の学びを示すコメントがキャラクターのセリフやリード文で題材に掲載されている。
日文	体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『自然を感じるすてきな場所で』や学校の校舎などを生かした活動が『糸から生まれるわたしの空間』などに設定されている。「造形遊び」の学びを示すコメントやリード文が題材に掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の写真、幼稚園教諭からのメッセージと児童の言葉『わくわくするね』が掲載されている。第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の振り返り『どんなことすきだった？』が掲載され、幼児期の造形活動とのつながりを示す題材が掲載されている。第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
開隆堂	情報活用能力の育成について、第5・6学年では、プログラミングを生かして動かしたり、音を出したりする児童の作品の紹介が掲載されている。『学びの資料』では『タブレットたんまつをしよう』が掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、第3・4学年と第5・6学年では、表現方法の例としてプログラミングの作品やプログラミングの手順が掲載されている。第3・4学年と第5・6学年の『材料と用具のひきだし』では『ICTの活用』が掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
開隆堂	児童の学習上の困難さへの対応について、教科書で使われているマークなどの説明が『図画工作を学ぶみなさんへ』に掲載されている。作品を数字で示せるよう図版番号が掲載されている。写真やイラストを用いて作品のつくり方が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、題材ページの構成や教科書で使われているマークなどの説明が『教科書の使い方』に掲載されている。イラストを用いて作品のつくり方が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活動できる学習活動が、『見て感じてわたしの表現に』などに示され、題材ごとに参考作品の画像、題材に使えるワークシート、学習活動の内容や学習のめあて、技法を説明する動画などにつながる二次元コードが設定されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『この筆あと、どんな空』などに示され、題材ごとに参考作品の画像、作家のインタビューや技法を説明する動画、コマ撮りアニメーション制作アプリなどにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 児童が造形的な見方・考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容や題材は適切に取り上げられているか。	
開隆堂	造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、その場所で感じたことを絵に表すなどの学習活動が『私のお気に入りの場所』などに設定されている。作品や自然の中の形や色などに着目する学習活動が『小さな美術館』に設定されている。
日文	造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、日常を自分の見方で切り取って表すなどの学習活動が『私の大切な風景』などに設定されている。身の回りにある形や色などに着目する学習活動が『図工のみかた』に設定されている。
⑰ 児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるよう、表現及び鑑賞の題材に、工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、各題材に使用する用具の一覧が掲載されている。異なる表現方法で活動する児童の写真や作品が掲載されている。
日文	経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、第5・6学年では、既習の学習が『思い出そう』に掲載されている。異なる表現方法で活動する児童の写真や作品が掲載されている。
⑱ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させることについて、作品と関連する題材のページが『小さな美術館』に掲載されている。題材に形や色、イメージの広がりに関することなどが児童の言葉や気づきとして吹き出しの形で掲載されている。表現の題材と鑑賞の題材が続けて掲載されている。
日文	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させることについて、題材に活動内容を示した『絵・かん賞』などが掲載されている。形や色、イメージの広がりに関することなどが児童の言葉や気づきとして吹き出しの形で掲載されている。表現の題材と鑑賞の題材が続けて掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
開隆堂	1・2 上下各26題材、3・4 上下各26題材、5・6 上下各25題材。それぞれの題材は2ページまたは4ページで構成されている。
日文	1・2 上29題材、下28題材。3・4 上28題材、下27題材。5・6 上下各28題材。それぞれの題材は1ページから4ページで構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	判型はA4判が採用されている。
日文	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
開隆堂	1・2 下 56ページ 『サザンビーチでサンドアート』（茅ヶ崎市） 1・2 下 57ページ 『たっぷりえのぐでおもいきり』（横浜市） 3・4 上 56ページ 『りゅうぐうじょうへようこそ』（横浜市） 3・4 下 55ページ 『造形さがみ風っ子展』（相模原市） 5・6 下 54ページ 『案内看板』（横浜市） 5・6 下 54ページ 『赤レンガ倉庫』（横浜市） 5・6 下 54ページ 『横浜美術館』（横浜市） 5・6 下 69ページ 『病院に笑顔と光を』（横浜市）
日文	1・2 下 45ページ 箱根彫刻の森美術館『おくりもの：未知のポケット2』（箱根町） 3・4 上 52ページ 造形『さがみ風っ子展』（相模原市） 3・4 上 53ページ ショッピングモールでの展示 3・4 上 53ページ 『SDGsアートウォール・プロジェクト』 3・4 下 32ページ 島津冬樹『だんボールが』 5・6 上 36ページ 駅のこう内での展示 5・6 上 57ページ 隈研吾『角川武蔵野ミュージアム』 5・6 下 65ページ 横浜美術館『オンライン美術館に行こう』（横浜市）

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）							
発行者	総冊数	1・2年		3・4年		5・6年	
		上	下	上	下	上	下
開隆堂	6	249	248	249	249	248	261
日文	6	245	233	234	232	243	246